

# 学校法人 専修大学 08年度決算

学校法人専修大学の2008年度決算は、5月29日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

本法人は、日本における私学の魁としての気概を込めた21世紀ビジョン「社会知性の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を基本理念に掲げ大学改革を推進している。08年度は、事業計画に基づき、専修大学、石巻専修大学及び専修大学北海道短期大学において、教育研究の質的強化、経営・財政基盤の整備、社会との連携による知的貢献、及び広報活動の強化に努めてきた。

専修大学は、人文科学分野の学問領域拡充を目指す新学部・新学科の設置準備、アジアにおいては8校目となるラオス国立大学との国際交流協定締結、さらに、知的社会貢献・地域貢献の強化に資するサテライトキャンパスの設置と社会人対象の「KSコミュニティ・ビジネス・アカデミ

## 決算の概要

### 1 資金収支計算書

#### (1) 収入の部

収入の部では、当年度収入合計が予算比1・11%増の256億7745万円(前年度比では10・23%の減)となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比0・85%増の3331億4352万円となっている(同8・36%の減)。

①学生生徒等納付金収入は、予算比0・22%増の211億1464万円(同1・91%の増)。最終在籍者が3大学全体では、22423人。前年度と比べ専修大学で増、石巻専修大学・短大で減となり、全体では3933人の増となっている。

②手数料収入は、予算比3・41%増の10億2726万円(同4・47%の増)。このうち、入学検定料収入は、予算比5・16%増の21億199万円

③寄付金収入は、予算比49・34%減の1億9649万円(同27・15%の増)。このうち、特別寄付金収入は、予算比54・32%減の1億6263万円。一般寄付金収入(08年度入学生等の父母等による寄付金)は、予算比6・14%増の3386万円となっている。

④補助金収入は、予算比4・95%増の21億4928万円(同0・56%の増)。このうち、国庫補助金収入は、予算比5・16%増の21億199万円

⑤資産運用収入は、予算比15・69%増の3億9782万円(同65・95%の減)。このうち、受取利息・配当金収入は、予算比18・05%増の3億2611万円(同69・90%の減)。金利の低下、円高の影響等により、前年度と比べて大幅な減額となっている。

⑥資産売却収入は、固定資産売却収入が予算比0・30%増の4億5561万円(同3・57%の減)。このうち、補助活動事業収入には、セミナーハウス利用料、体育寮

#### (2) 支出の部

支出の部では、当年度支出合計が予算比1・89%減の248億3576万円(前年度比では13・46%の減)で、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含ま83億776万円となっている(同11・27%の増)。

①人件費支出は、予算比1・18%増の140億5062万円(同0・88%の減)。差異は、教職員退職金支出の増等による。

②教育研究経費支出は、予算比3・01%減の64億1435万円(同2・02%の減)。予算比増の主なもの決算額、要因等は以下のとおり。

・消費品費支出：3億9526万円(1466万円の減)

・学生実験用消耗品費、講義要項CD-ROM制作費、教員個人研究費等の減

・通信運搬費支出：1億2301万円(1032万円の減)

・オンラインデータ通信回線使用料、学内事務用電話使用料、各所管郵送料等の減

・旅費交通費支出：2億4397万円(3486万円の減)

・教育研究業務出張旅費、受託事業海外研究旅費、通支支線バス経費等の減

・奨学費支出：4億606万円(1884万円の減)

・家計急変奨学生、災害見舞費学生等の申請者数の減

・補助費支出：2億3934万円(1380万円の減)

・学生団体課外活動補助金、大学院生図書購入費、コピー援助費等の減

・修繕費支出：3億433万円(1989万円の増)

・生田1号館施設改修工事の減。このうち、建物支出は、予算比6・52%減の7億5965万円

・委託費支出：19億100万円(4846万円の減)

・各種講座委託費、各所管派遣業務委託費等の減

・保守費支出：4億1827万円(1067万円の減)

・空調機器点検保守費、消防設備点検保守費等の減

・賃借料支出：8億187万円(1767万円の減)

・設備関係支出は、予算比2・82%減の3億7052万円(同56・64%の減)。このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比9・10%減の1億3877万円、差異は、主として生田1号館施設改修工事に伴う他の科目への振替額。また、図書支出は、予算比0・38%減の2億2582万円。

※⑦の主なものについては、後記の「主な施設設備等整備事項」に記載。

⑧資産運用支出は、予算比42・22%減の11億2507万円(同33・34%の減)となり、消費収入の部合計は予算比3・27%増の249億5515万円(同0・26%の増)(6528万円の増)となった。

基本金組入額合計の内訳

第1号基本金 10億4107万円(当年度取得資産及び借入金返済等の組入額)

第2号基本金 当年度組入額なし(将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額)

第3号基本金 当年度組入額なし(学術奨励基金)

⑧雑収入は、予算比31・04%増の4億9631万円(同19・35%の減)。

このうち、退職金財団交付金収入は、予算比36・30%増の4億680万円

⑨前受金収入は、09年度入学者の入学手続時の納入学費(翌年度の学生生徒等納付金収入となる)で、42億4464万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等7億2147万円。資金収入調整勘定(収入の振替控除科目)は、期末未収入金及び前期末前受金で5億2661万円。

⑩雑収入は、予算比31・04%増の4億9631万円(同19・35%の減)。

このうち、退職金財団交付金収入は、予算比36・30%増の4億680万円

⑪前受金収入は、09年度入学者の入学手続時の納入学費(翌年度の学生生徒等納付金収入となる)で、42億4464万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等7億2147万円。資金収入調整勘定(収入の振替控除科目)は、期末未収入金及び前期末前受金で5億2661万円。

①サテライトキャンパス施設(向ヶ丘遊園駅北口・アトラスタワー向ヶ丘遊園)購入②神田・生田中央監視設備更新③神田・生田トイレ改修④神田低層棟内壁塗装・照明器具更新⑤生田1号館施設改修⑥生田教室視聴覚設備の生田通学路・学内防犯灯設置⑧生田空調設備改修⑨生田北グラウンド人工芝張替え

①歩道用外灯設置②キヤンパス案内ポールサイン設置③各号館廊下廊下床補修④女子トイレ改修⑤実験・実習機器購入

③管理経費は、予算比2・93%減の22億1494万円(同1・26%の減)で、減価償却額2億5876万円を含んでいる。

④資産処分差額は、予算比871・07%増の1億2561万円(同17・76%の減)。このうち、固定資産処分差額は、予算比746・04%増の1億944万円。

◇固定資産処分差額内訳

土地 22万円

(石巻専修大学校地演習林)の一部を隣接する住民へ譲渡したことによる土地処分差額)

建物 5480万円

(生田1号館・9号館施設設備改修等の建物及び建物付属設備処分差額)

構築物 3205万円

(生田北グラウンド人工芝張替え等の構築物処分差額)

教育研究用機器備品 1542万円

(993点)

管理用機器備品 130万円(32点)

図書 410万円

(1141冊)

車両 153万円(4台)

また、有価証券評価差額は、保有有価証券(株式)の評価換えによる損失額で1617万円。

(3面に続く)

### 2 消費収支計算書

#### (1) 消費収入の部

消費収入の部では、帰属収入合計(学校法人の負債とならない収入)が予算比0・99%増の260億8023万円となり、前年度比では1・87%増(4億9743万円の減)。

基本金組入額合計の減)が、予算比32・22%減の11億2507万円(同33・34%の減)となり、消費収入の部合計は予算比3・27%増の249億5515万円(同0・26%の増)(6528万円の増)となった。

基本金組入額合計の内訳

第1号基本金 10億4107万円(当年度取得資産及び借入金返済等の組入額)

第2号基本金 当年度組入額なし(将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額)

第3号基本金 当年度組入額なし(学術奨励基金)

#### (2) 消費支出の部

消費支出の部では、消費支出の部合計が予算比0・54%減の254億4305万円(前年度比では5・54%の減)。

①人件費は、予算比1・18%増の140億5062万円(同0・88%の減)。

②教育研究経費は、予算比3・01%減の64億1435万円(同2・02%の減)で、減価償却額2億5876万円を含んでいる。

③管理経費は、予算比2・93%減の22億1494万円(同1・26%の減)で、減価償却額2億5876万円を含んでいる。

④資産処分差額は、予算比871・07%増の1億2561万円(同17・76%の減)。

この中には、現物寄付金等が含まれている。

受贈および編入図書 2億1332万円

その他の受贈資産 2931万円

②資産売却差額は、固定資産売却差額で、予算比196・5%増の14万円(前年度の決算額はなし)。短大のトラック売却差額。

教育研究用機器備品 1542万円

(993点)

管理用機器備品 130万円(32点)

図書 410万円

(1141冊)

車両 153万円(4台)

また、有価証券評価差額は、保有有価証券(株式)の評価換えによる損失額で1617万円。

(3面に続く)